

けいせん

議会だより

Vol.11



学校給食を試食しました。

未来を担う大切な子どもたちを健やかに育てるために学校給食では、どのような食材を使い、どのような形で子どもたちの成長を支えているのか調査をするために、3月22日(火)桂川小学校で議員全員が試食しました。

当日のメニューは、主食は柏型パン、主菜は、ささみチーズカツ・キャベツソテー、副菜は押し麦入りスープ(大根、人参、押し麦、もやしが入り、味は中華味でした。)添えとして牛乳200ml。

最初見た時には、内心足りるのかと不安でありましたが、油で揚げられたチーズカツがカロリー的には高かったのですが、食べ終わった時には満腹感で、とても幸せでした。(総カロリーは、609kcal)因みにメニューは、小学校・中学校とも同じですが、中学生にはキャベツソテーとスープを少し多めに提供しているそうです。

校長先生のお話で、栄養士の方がアレルギー体質の子ども達にそれぞれアレルギー物質の除去食作りに苦慮しておられることを聞かせていただきました。皆さんが見えないところで、子どもたちひとりひとりの事を考えながら作って頂いているのはありがたいことです。また、月に一度は地元の食材を使った給食の提供(地産地消)を考えていると言われていました。

子どもたちが「私たち一人一人の為に野菜などを作ってくださいる人」がいること、「私たち一人一人の為に料理を作ってくださいる人」がいること、食べるということとは多くの「いのち」をいただくかなければ生きられないこと等、給食を通して知ることでも大切ではないでしょうか。身体だけでなく精神的にも大きく成長する子どもたちを町民みんなで愛情を持って育て、見守っていききたいものです。

委員会の審査結果報告

平成二十八年年度予算の審査結果報告をします。

一般会計

平成28年度一般会計予算は、53億5980万7千円です。対前年度比は、1%、金額にして6004万1千円の増額になっています。

● 総務経済建設委員会

(全員賛成)

歳入の町税は対前年度比、1.3%増で、地方譲与税及び地方交付税等は、地方財政計画等を勘案した計上であり、国庫補助金等其他の歳入については、主に前年度実績等を考慮して計上されています。

歳出の総務費では、まち・ひと・しごと創生総合戦略、マイナンバー制度などの経費が、農林水産業費では、農地集積・集約化推進、農地農業施設の保全管理など農林業振興に係る経費、淀川改良工事費など水利施設の改修事業費が計上されています。商工費では、商工業振興関係費などが、土木費では、桂川駅周辺の整備事業費、町営住宅の更新事業に係る関係経費が計上されています。

● 文教厚生委員会

(賛成多数)

歳入の施設等使用料では、前年度実績等を勘案して計上がなされ、国・県支出金は、事業費に対応した予算が計上されています。

歳出の民生費は、主に社会福祉や障がい者・高齢者福祉、子ども・子育て支援などの関係経費が、また、臨時福祉給付金についての予算が計上されています。

衛生費では、各種検診や予防接種健康増進、ごみ処理など生活環境の保持のための経費が計上され、教育費では、けいせん学力アップ推進事業、ブックスタートなどの経費、小中学校・幼稚園、体育施設などの運営費や天神山古墳など文化財の調査関係経費が計上されています。

住宅新築資金等貸付

事業特別会計

● 総務経済建設委員会

(全員賛成)

歳入歳出予算総額は、それぞれ1849万5千円で、主な歳入は、住宅新築資金等事業収入が見込みで計上され、歳出では、職員の給与及び住宅新築資金等貸付事業償還

元金及び利子などが計上されています。

土地取得特別会計

● 総務経済建設委員会

(全員賛成)

歳入歳出予算総額は、それぞれ1059万2千円です。

個別事案に係る土地購入費等の事業予算は計上されていません。例年どおりの予算計上になっています。

国民健康保険特別会計

● 文教厚生委員会

(賛成多数)

加入世帯数は、約2250世帯で、歳入歳出予算総額は、23億2761万8千円が計上され、対前年度比0.7%の増額になっています。

歳入では、平成27年度からの低所得者対策である保険者支援制度拡充により、低所得者の保険税軽減分を公費で補填する保険基盤安定繰入金が増額になっています。

歳出では、約63%を占める保険給付費は、14億6760万6千円で827万6千円の増額です。医療費通知、ジェネリック薬品の普及促進などの医療費適正化を図るための予

算が計上されています。

後期高齢者医療特別会計

● 文教厚生委員会

(賛成多数)

被保険者数は、約2000人で、歳入歳出予算総額は、1億7964万円が計上されており、対前年度比は、4%の減額になっています。

主な歳入は、保険料1億756万1千円のほか保険基盤安定繰入金などです。歳出では、広域連合への保険料等の納付金1億6933万4千円が計上されています。

水道事業会計

● 総務経済建設委員会

(全員賛成)

収益的収入及び支出では、水道料金など収入総額2億2471万9千円、支出では、人件費、動力費、薬品費など総額2億271万8千円を予定しており、単年度の収益的収支は2200万1千円の黒字を見込んでいます。

資本的収入及び支出の予算は、収入では今年度の予定はなく、支出は、2602万1千円予定しています。主に、機械装置購入費、企業債償還金などになっています。

一般質問

3月定例会で次の議員が一般質問しました。

議員が町の行財政全般について執行部に説明を問うものです。紙面の都合により、一般質問の内容を要約して記載しています。



竹本慶吉議員

NPO法人事件について

問 昨年NPO法人の代表者が、逮捕される事件が発生している。NPOクラブと本町との契約関係があれば、その経緯を聞きたい。

答(北原学校教育課長) NPOクラブとは幼稚園運動指導委託、外国語指導業務委託をしていたが、現在解約した。外国語指導のALTは以前から評価が高く、本人との契約にした。

問 部活動の指導者として関係したようだが。

答(瓜生教育長) 部活動の外部指導者として活動していたが、現在解約し関係はない。

問 今、学校支援ボランティアを募集しているが、その選考はどうしているか。不祥事が予防できる対策を立てて欲しい。

答(教育長) 学校支援地域本部事業で学校が要請する活動を中心にボランティアを募集している。ボランティア登録申込書を直接、教育委員会に持



林 英明議員

議会ペーパーレス化について

問 ペーパーレスとは「書類を電子的にやりとりし、紙を使用しないようにすることだ。

昨年11月13日、飯塚市・嘉麻市・桂川町の第1回議長・副議長会が、嘉麻市で開催された時、議会ペーパーレス化について説明して頂いた。その目的は議員の利便性向上と執行部・議会事務局の負担軽減のためだ。

議員の利便性向上においては、タブレット端末を持つ事で資料をいつでも受け取れるし、予算書・議事録など過去の膨大な資料をすべて携行でき、検索もその中からすばやく簡単に呼び出せる。また資料の保管・整理の心配がなくなる。

執行部・議会事務局の負担軽減においては、用紙代やコピー費用など経費の削減や、資料の編纂・ホチキス止め・配布など作業時間の削減、また議会資料の保管場所を省けるなどだ。嘉麻市でのペーパーレス化の経費は年間約450万円で、削減効果は、用紙代・印刷代・郵便代等、それに会議



大塚和佳議員

大寒波に伴う水道管凍結災害の対策と今後の対応

問 自衛隊の緊急派遣の経過について

録配布削減など約344万円で、差引き約106万円かかっている。しかし、議員の利便性向上や執行部・議会事務局の負担軽減などで、106万円は消えてしまい、プラスの方が大きいと思う。

2年前3月議会で、議員定数の削減、委員会の公開、連合審査会への道会改革をやってきた。

今回のこのペーパーレス化を、新たな議会改革にすべく、桂川町としてはまずは勉強してみることから始めたいと思う。そのために執行部と議会で嘉麻市へ視察に行く事を提案したい。

答(井上町長) 時代の進展を考えると、今後ペーパーレス化の必要性があるだろうという予感はある。この機会に、議会と執行部が共に研修を深める事は大切であると思う。

答(井上町長) 陸上自衛隊飯塚駐屯地に事前協議し、その後、県と協議した。

問 給水場所へ来ることができない人の対応について

答(町長) 災害時要支援者への対応を検証していく。

問 今回の災害を教訓とした今後の対策について。

答(町長) あらゆる災害に対する備えをしっかりと進めていく。

待機児童の対策について

問 教育委員と教育長は「待機児童の問題は、保育所だけの問題」と考えてあるのか。

答(瓜生教育長) 保育所だけの問題とは考えていない。

問 臨時保育士の確保で、嘉麻市では昨年度と比較して賃金が11%増になっている。また、土師保育所の増改築の要望はないとの回答であったが。

答(町長) 賃金の改定はしていかなければいけないし、国を挙げて抜本的に考えないといけない。また、土師保育所の増改築は、中・長期的に考えていかなければならない。

問 待機児童になって、施設救助者が離職しなければならぬ状況をどう思うか。

答(町長) 地域包括ケアシステムの

基準の1.5倍と決めている、福岡県内でも高い係数である。

問 就学援助を申し込んで実際に支払われるのは7月で、必要な時に必要な援助が受けられていないのではないか。

答(学校教育課長) 学期末ごとに支払いをしており、新入学用品費については一学期末に支給している。支給時期については今後課題等の整理も含め内部で検討していく。

問 申請に際し丁寧に書き方など教えるべきではないか。

答(学校教育課長) 保護者目線に立ち丁寧な窓口対応を心がけ実施していく。



杉村明彦議員

問 桂川町の小中学校の修学旅行等につかう観光バスはどのように選定されているか。

答(北原学校教育課長) 小中学校における修学旅行等に使用する観光バスの選定については、旅行代理店数社から見積を徴収し選定している。

バスの料金については、国において高速ツアーバス事故を踏まえた「運輸の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドライン」が見直され、新

構築を含め、今後の課題と思う。

桂川町まち・ひと・しごと創生総合戦略について

問 桂川町まち・ひと・しごと創生総合戦略と第5次桂川町総合計画との違いとは。

答(町長) 総合計画は全般的なもので、総合戦略(基本目標、「桂川駅周辺整備・定住促進」、「教育」、「産業」、「王塚古墳」)は目的のために特に必要なもの。

問 「子育て支援は喫緊(きつぎん)の課題」の解決策について。

答(町長) 本町の実情に合わせた、子育て支援施策に取り組んでいきたい。

問 「王塚プロジェクト」魅力ある「個性」の発揮とは」と目標にあるが、人的に対応できるのか。

答(町長) 「王塚古墳」を中心とした、古代文化遺産の魅力を町内外に発信していきたい。

副町長の仕事について

問 任期中の仕事内容は。

答(森山副町長) 約1年間、庁内の横断的な課題への対応など、各課の業務に対する監督などに当たってきた。来年度は、特に地方創生に向けた取り組みが前に進むよう、町長を補佐していきたい。

たな料金制度が導入されている。

修学旅行等については教育課程の一貫として実施していることから、バスのみならず、宿泊施設及び緊急時の対応など、児童・生徒の安全・安心を第一に考慮し、総合的に見積提案の中身を審査し評価する選定方法をとっている。単に見積額の低い業者を選定するといった方法はとっていない。

問 10歳以上の子どもでは原因不明の貧血患者の60〜70%がピロリ菌に感染しているとされている。ピロリ菌は大人になって感染するのは希で、ほとんどの方が幼少期に感染していると言われている。そこで、10歳になったときや、6年生になった時など限定的に「便中ピロリ菌抗原検査」という検便のできる検査をしてみたいと思うか。

答(横山健康福祉課長補佐) ピロリ菌の感染経路や検査方法、さらには、検査の結果として感染の可能性がある場合の措置などを考えると、子どもたちにはリスクの高い面もあるようだ。近隣の検査センターに確認したところ、実施できる検査は採血による検査だけだ。子どもの採血は、血管の細さや注射に対する恐怖心から非常に難しい検査で、推奨しがたい検査方法と思われる。また、日本消化器病学会でも、ピロリ菌除菌適応の年齢制限については、原則的に年齢制限はないが、未成年者に対する除菌治療は明記されていないこと、除菌治療の添付文書でも小児等への投与は、使用経験

問 副町長の評価は。

答(町長) 評価については、非礼であり、この場での回答は持っていない。



吉川紀代子議員

防災計画について

問 本年1月24日強い寒波で水道管が破裂し、町は断水を決行、給水活動を行ったが給水場所(3か所)の決定はどのように決めたのか、一人暮らしの高齢者や障がい者への配慮が欠如していたのではないか。

答(井上町長) 給水場所の設置については広い場所が必要なので町の東部・中央部・西部とした。この場所に行けない方は各行政区長や自主防災役員等と協力し、個別の給水に取り組んだが細部まで対応できなかった。

問 今回の災害で改善すべき点は「防災無線の機能充実点検」、「広報車活用」のあり方、「社会的弱者への防災連絡網の充実」などであるがどのように改善するのか。

答(町長) 今後は、水道管の凍結防止対策や飲料水の備蓄、断水時のトイレの流し方、漏水の確認方法など災害に対する備えを啓発し、また災害時における自主防災組織や民生児童委員

が少ないため、小児等に対する安全性は確立されてないとなっており、通常より保護者への十分な説明や、治療の同意確認が必須となっている。ピロリ菌検査自体を否定するものではないが、担当課としては、低年齢層のピロリ菌検査は、厳しと判断している。ただし、ピロリ菌対策は必要と考えているので、効率よいピロリ菌対策の啓発に力を入れ、健康推進に努めてまいりたいと考える。



藤川正恭議員

問 地方創生総合戦略会議において政策目標はどの程度明確に出されているのか。

答(山辺企画財政課長) 桂川駅周辺整備・定住促進、教育、産業、王塚古墳四本の柱で人口の定住をはかる。

問 四本の柱は、どんな効果があるのか。

答(井上町長) 中味についてはいわずれ報告し、これが計画倒れにならないようにする。

問 ふるさと創生基金は何に使ったのか。

答(町長) 王塚古墳の整備に1億円使った。

との連携・強化を図り、行政・消防団のみならず、町民も参加した防災訓練や研修を実施し防災につなげていく。

町民要求の取り扱いについて

問 要望書提出から実施に至るまでの説明を求め。

答(原中建設事業課長) 建設課担当職員が要望書の内容を確認し町長までの決済を行う。明らかに「町道管理上の問題ではない」というものは、区長に「できない」という通知をしている。カーブミラーも危険優先度の高い順に対応しているが、その判断は担当部署内で協議し決定している。予算上できない箇所については翌年度以降対応する。

問 区長に対し、「する」とも「しない」とも答えていない箇所については「する」という事なのか。

答(建設事業課長) 要望書受付の時に「できない」と伝えていなければ優先順位上の問題だと思われる。

子どもの貧困対策について

問 「子どもの貧困対策法」では子どもの貧困対策の総合的な策定、実施に対する国・地方自治体の責務などを明記している。

本町の就学援助基準の引き上げをどうするか。

答(北原学校教育課長) 現在、就学援助の認定基準については生活扶助

問 王塚古墳に以前1億円使ったのに再度先行型で使うのは、当時1億円使ったのは、あまり効果がなかったのではないか。

答(町長) 当時と今とでは状況が違う。

問 地方創生に係わる駅裏開発におけるコンサルはJRが所持している会社か。

答(町長) JRの所持している会社ではないが関連はある。

問 JRのコンサルに計画を依頼し、橋上駅や自由通路などで予想に反する結果が出た場合はどうするのか。

答(町長) JR九州コンサルタント(株)に委託したのは桂川駅を南側から利用するために具体的にどんな方法があつて、その方法をとった時にどんなメリット・デメリットがあるかの一点に絞ったコンサルの契約だ。

問 プレミアム付き商品券の町内における消費喚起の総括はするのか。

答(町長) 町内のプレミアム付き商品券取り扱い事業者が86件から122件に、新たに新規加入した事業者が9事業者となつて、効果があつたと判断している。

問 来年度はどうするのか。

答(山本産業振興課長) 今後、県の動向を見て関係機関と協議をし、判断していく。



3月定例会で審議された結果



【議案】	件名	付託委員会審査結果	審議結果
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦	—	【同意】
承認第1号	桂川町税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定	—	【承認】
議案第1号	財産の処分	総務経済建設委員会 全員賛成	【可決】
議案第2号	桂川町共同作業所の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定	総務経済建設委員会 全員賛成	【可決】
議案第3号	桂川町行政不服審査会設置条例の制定	総務経済建設委員会 全員賛成	【可決】
議案第4号	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	総務経済建設委員会 全員賛成	【可決】
議案第5号	桂川町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務経済建設委員会 全員賛成	【可決】
議案第6号	桂川町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務経済建設委員会 全員賛成	【可決】
議案第7号	桂川町特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務経済建設委員会 全員賛成	【可決】
議案第8号	桂川町証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務経済建設委員会 全員賛成	【可決】
議案第9号	桂川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務経済建設委員会 全員賛成	【可決】
議案第10号	桂川町子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定	文教厚生委員会 全員賛成	【可決】
議案第11号	桂川町立幼稚園授業料等徴収条例の一部を改正する条例の制定	文教厚生委員会 継続審査	【継続審査】
議案第12号	桂川町災害対策本部条例の一部を改正する条例の制定	総務経済建設委員会 全員賛成	【可決】
議案第13号	平成27年度桂川町一般会計補正予算(第5号)	総務経済建設委員会 全員賛成 文教厚生委員会 賛成多数	【可決】
議案第14号	平成27年度桂川町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第2号)	総務経済建設委員会 全員賛成	【可決】
議案第15号	平成27年度桂川町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	文教厚生委員会 全員賛成	【可決】
議案第16号	平成27年度桂川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	文教厚生委員会 全員賛成	【可決】
議案第17号	平成27年度桂川町水道事業会計補正予算(第3号)	総務経済建設委員会 全員賛成	【可決】
議案第18号	平成28年度桂川町一般会計予算	総務経済建設委員会 全員賛成 文教厚生委員会 賛成多数	【可決】
議案第19号	平成28年度桂川町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	総務経済建設委員会 全員賛成	【可決】
議案第20号	平成28年度桂川町土地取得特別会計予算	総務経済建設委員会 全員賛成	【可決】
議案第21号	平成28年度桂川町国民健康保険特別会計予算	文教厚生委員会 賛成多数	【可決】
議案第22号	平成28年度桂川町後期高齢者医療特別会計予算	文教厚生委員会 賛成多数	【可決】
議案第23号	平成28年度桂川町水道事業会計予算	総務経済建設委員会 全員賛成	【可決】
報告第1号	平成28年度桂川町土地開発公社事業計画及び予算の報告	—	【報告】

つぶやき

三月一日に始まった卒業（園）式、四月一日から始まった入学（園）式は、四月十二日の幼稚園が最終となりました。

それぞれの学校では、新入学（園）生が、緊張した面持ちではありましたが、態度は立派で安心しました。一方では幼稚園、保育所（園）の先生方は大変でした。例年の事ながら、泣き出す子が出ると、お母さん目指し大合唱です。しかしさすが先生方です、上手に收拾されて事なきを得ました。

この様に、親や保護者の愛情に恵まれた子ども達ばかりではありません。ここ数年多発している幼児・児童虐待に、心を痛めておられる方は多いのではないのでしょうか。行政だけに頼るのではなく、地域に住む私達一人一人が、周囲に関心を持たなければと思っています。

竹本慶吉